

18世紀にバッハが作曲したマタイ受難曲は、

キリストが死という受難を迎える様を描いたドラマチックな情景の中に、あまりにも美しい音楽が溢れた作品です。

「マタイ受難曲 2023」は、あえて原曲由来のクラシック出身ではない、今の自分の思いを伝えることに魂を注ぐジャズやポップス、様々なジャンルの歌手とプレイヤー、そのジャンルにおいて最も魅力的なミュージシャンを集め、クラシックの大曲を新たな視点で上演するものです。

また、全編において語り手を担っているエヴァンゲリストは、原作が指定した歌手ではなく、様々な舞台、メディアで活躍する役者三人が、伝え導き、観客を誘います。

2021年、コロナ禍の中開催した「マタイ受難曲 2021」(於・豊洲文化センター)の更なる発展型再演

マタイ受難曲 2023

「神と嘘」

Mathew Passion 2023 — God and Lies —

【歌】

石川真奈美
松本泰子
行川さおり
Noriko Suzuki

【エヴァンゲリスト、語り】

西田夏奈子
千賀由紀子
黒木佳奈

【演奏】

shezoo (指揮・ピアノ)
西田けんたろう (ヴァイオリン)
北沢直子 (フルート)
寺前浩之 (バンドリン)
土井徳浩 (クラリネット)
田中邦和 (サクソ)
佐藤 桃 (チューバ)
木村秀子 (キーボード)
藤野由佳 (アコーディオン)
酒井康志 (ボーカロイド)

※「VOCALOID (ボーカロイド)」および「ボカロ」は、ヤマハ株式会社の登録商標です。

企画・脚本・編曲・音楽監督: shezoo

Planning, Script, Arrangement & Music Director: shezoo

演出: 田丸一宏 Stage Director: Kazuhiro Tamaru

2023 年 1 月 7 日 (土)

開場 16:15 開演 17:00

Hakuju Hall

東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5

料金: 前売5,500円、当日6,000円 (全席指定、税込)

※未就学児の入場はご遠慮ください。一般発売: 2022年10月29日 (土)

チケットは: 岩神六平事務所 <http://roppei.jp/> イープラス <https://eplus.jp/> Confetti (カンフェティ) <https://confetti-web.com/>

主催: マタイ受難曲2023実行委員会 制作協力: JamRice

お問合せは: 岩神六平事務所 Tel.046-876-0712, <http://roppei.jp/>

オフィシャルサイト <https://shezoo-matthauspassion.info>



shezoo シズ (作・編曲、ピアノ) shezoo (cond, p)

作編曲家、ピアニスト。16歳でミュンヘン国立音楽大学に入学。情景や映像を喚起させるアーティストとして多様な形で音楽を生み出す。その音楽は美しく、妖しく、懐かしく、深い音世界へと聴くものを誘う。CM、映画、舞台音楽の作編曲、アートとのインスタレーションを手掛ける。バンド、ユニットとしてはトリニテ、透明な庭、みみたば、Eternal flame、夜の音楽、shinono-me、倭文織、たまフラ他に参加、様々なアーティストとの共演、楽曲提供を行う。2018年絵画、朗読、音楽によるアンデルセン「絵のない絵本」、夏目漱石「夢十夜」の制作、音楽監督を担当。2019年から横浜エアジンにて7人の歌手との連続ライブシリーズ「七つの月」を行っている。2021年2月に上演された「マタイ受難曲2021」の企画、編曲、脚本、音楽監督を担当し大きな反響を呼ぶ。オリジナル作品を集めたアルバムとして「nature circle」「prayer」「月の歴史」「神々の骨」「prayer sabato santo」、コラボアルバム「Invisible Garden」「Moon night parade」および音楽担当映画、舞台のサウンドトラックCD、DVDのリリースがある。

<https://www.facebook.com/shezoo.shizu.73/shezoo.cocolog-nifty.com>

石川真奈美 (歌) Manami Ishikawa (vo)

子供の頃より合唱などを通じて歌に親しむ。ジャズを中心にポップスや歌謡曲、アンビエント系までジャンルを超えて表現力豊かに歌いこなす。ジャズコーラスグループ「a・i」での活動も目が離せない。

松本泰子 (歌) Taiko Matsumoto (vo)

民族音楽との出会いが声そのものへの興味につながる。ジャズをはじめ、日本の歌やアラブ古典、オリジナル等々。夫のレック奏者、和田啓とのグループ「ウタウタ」、谷川賢作とのDuo等で活躍。

行川さをり (歌) Sawori Namekawa (vo)

英語、ポルトガル語、スペイン語、ドイツ語、日本語など、様々な言葉を奏でる楽器を目標に歌唱活動を続ける。オリジナルユニット”砂漠の狐”、”phacoscape”、”kurasika”の歌い手。

Noriko Suzuki (歌) Noriko Suzuki (vo)

世界のどの国にも属さず、どの土地にも根ざし、どの生き物にも語りかけるような歌声。10代から旅と共に世界の音楽に触れ、自己のバンドで「Be-Spell」「存在の耐えられない軽さ」をリリース。

西田夏奈子 (エヴァンゲリスト) Kanako Nishida (evangelist)

2002年よりフリーの舞台俳優として活動。近年出演の劇団は木ノ下歌舞伎、FUKAI PRODUCE羽衣など。また別の顔：エビ子・ヌーベルバーグ(バイオリンと歌)、中森夏奈子(中森明菜リスペクトショー)。

千賀由紀子 (エヴァンゲリスト) Yukiko Senga (evangelist)

CRG所属。劇団AUN(吉田鋼太郎主催)旗揚げより参加。主にシェイクスピアを上演。その他外部公演、映像作品に多数出演。TBS日曜劇場『ナポレオンの村』レギュラー等

黒木佳奈 (エヴァンゲリスト) Kana Kuroki (evangelist)

東京音楽大学ピアノ科在学中に演劇を始める。ピアノや薩摩琵琶の弾唱をはじめ、歌唱や打楽器などの音楽経験を活かしジャンルにとらわれず自由な表現活動を行う。アーティスト集団・疎開サロンのメンバー。

西田けんたろう (ヴァイオリン) Kentaro Nishida (vn)

ベーシストからヴァイオリニストに転身。ジャズ、タンゴ、クラシック、なんでもプレイヤー。ヴァイオリン独奏プロジェクト「楽団ひとり」他、様々なユニットで活躍。

北沢直子 (フルート) Naoko Kitazawa (fl)

ジャズ、ブラジル音楽、ポップス、クラブミュージックなど幅広く活躍する。幼少よりパイプオルガン、バッハにも親しむ。エグベルト・ジスモンチの曲だけを演奏しまくる「ジスモンチまくり!」を展開している。

寺前浩之 (バンドリン) Hiroyuki Teramae (bandolin)

スペインに渡り巨匠ホセ・ルイス・ゴンサレスの元で学びつつ各地でコンサートを行なう。帰国後はブラジル音楽を中心に活動。現在はバンドリン奏者として様々なユニットに参加。テナーギターでのバッハ演奏も行う。

佐藤 桃 (チューバ) Momo Sato (tub)

東京藝術大学音楽学部卒業。チューボフ作、栗山民也演出『櫻の園』の音楽を監修(新国立劇場)するなど、様々なジャンルのアーティストのライブサポートやレコーディングにも数多く参加。

田中邦和 (サクソ) Kunikazu Tanaka (sax)

ジャンルを問わず常にトップシーンで活躍。これまでに自己のソロを含め、アルバム多数。また中近東や東欧の管楽器にも取り組み、常に表現の世界を広げている。

土井徳浩 (クラリネット) Tokuhiro Doi (cl)

ジャズクラリネットを中心にマルチリード奏者として自己のユニットやブラジル音楽、挟間美帆のユニットなど様々なグループへの参加、東宝、ホリプロ等のミュージカル、MISIAのサポート等、活躍は多岐に渡る。

木村秀子 (キーボード) Hideko Kimura (key)

5歳よりピアノを始める。Zale Seck日本公演の音楽監督を務めセネガルのテレビに出演。モントリオールのFestival du mondeに出演。ジャズをベースに様々なジャンルで活動中。

藤野由佳 (アコーディオン) Yuka Fujino (acc)

民族音楽を中心に、アコーディオンで奏でる音楽をこよなく愛する。日々出会う、心ふるわす人やもの、記憶を曲にすることがライフワーク。現在ソロ及び様々なユニットを通して活動中。

酒井康志 (ボーカロイド) Yasushi Sakai (vocaloid)

作詞作曲ユニット「FOMALHAUT」として活動する傍ら、多重録音による「独り In C」、バルトークやシェーンベルクをボーカロイドに歌わせる動画のネット公開などボーダーレスに活動している。

※ 「VOCALOID(ボーカロイド)」および「ボカロ」は、ヤマハ株式会社の登録商標です。

* 本公演は政府及び東京都の要請に基づき、公演会場、音楽業界団体のガイドラインに沿って感染症拡大防止対策を講じながら実施いたします。

【感染症拡大防止ご協力のお願い】 1. 発熱、咳、のどの痛みなどの症状がある方、体調の優れない方はご来場をお控えください。 2. ご入場時に非接触型体温計で検温を行います。37.5度以上の発熱があった場合はご入場いただけません。 3. ご来場時および館内では必ずマスクをご着用ください。マスクの無い方は入場できません。 4. 入館時には手指のアルコール消毒にご協力ください。 5. 入退場時やロビー、お手洗いをご利用の際には、他の方との間隔をできる限り1メートル以上お取りください。 6. 会場内での会話、開演中の歓声はお控えください。 7. チケットは手袋をして係員がもぎらせていただきます。ご自身でチケットを切り離していただいた場合は、目視で確認させていただきます。 8. 出演者とのご面会はお断りしております。 9. 終演後、エリアごとの規制退場をお願いすることがございますのでその際はご協力ください。 10. コンサートでコロナウイルス感染関与の可能性が生じた場合、保健所等関係機関にチケットご予約時のお客様情報を開示することがありますのでご了承ください。 11. 座席はステージとのディスタンス確保のため最前列は販売いたしません。2列目以降は100%の販売となりますのでご了承ください。 12. コンサートが中止された場合を除き、原則としてチケットの払い戻しはいたしません。

